



# セネガル国月報

2016年3月  
在セネガル国大使館



## 主な出来事

### 【内政】

- 憲法院は、3月20日に行われた憲法改正に係る国民投票の結果を発表した。投票率は38.59%、賛成票62.64%、反対票37.36%。

### 【外政】

- サル大統領は、3月13日に発生したコートジボワールのテロ事件を受け、同国を訪問し、ウワタラ・コートジボワール大統領及びコートジボワールの国民に対し追悼の念を表明した。また、サル大統領は、今回のテロ事件に関し、明日は他国でも同様の事件が起こる可能性が十分あり、自国はテロの心配は無用という幻想を抱いてはならない旨述べた。
- 国連安保理ミッションが、マリ、ギニアビサウ及びセネガルを訪問し、国連安保理非常任理事国として、近隣国の平和維持に関するセネガルの取組を称えた。

### 【経済】

- マンスールIMF調査団長は、政策支援インストルメント(PSI)の第2次レビューのためにセネガルを訪問し、2015年セネガルの経済成長率を前回予測の5.4%から、政府発表の6.5%に修正する旨発表した。
- タイバンジャイにおいて、70MWから最大105MWの供給能力を備えた新規発電所となるトーベンパワーの竣工式に、サル大統領が出席した。同発電所は、建設のため世銀グループ及び西アフリカ銀行(BOAD)等より800億FCFAの資金協力を得た。

### 【内政】

#### 憲法改正のための国民投票に係る動き

-5日、社会党の本部で行われた幹部会議において、国民投票に関し賛成の意見が出ることを恐れた同党員たちが乱入し、タノール・ジェン党首及びチャム国民教育大臣を含む10名に暴行を加え、警察が止めに入る事態となった(7日 WalfaQuotidien)。

-国内で選挙カードを発行する機械の故障により、国民が同カードを更新できない状況が続いている。ジャロ内務・公安大臣は、3月20日の国民投票に関し、約20万人の有権者が投票の機会を失うことになるが、選挙法第76条に従い、選挙カードがない者の投票を認めない旨発表した(16日 Sud Quotidien)。

-30日、憲法院は、3月20日に行われた憲法改正に係る国民投票の結果を発表した。投票率は38.59%、賛成票62.64%、反対票37.36%(4月1日 Le Soleil)。(往電第466号)

## 【外政】

### セネガル外交戦略

-2日、ダカールで開催された外交戦略会議において、マンクール・ンジャイ外務・在外セネガル人大臣は、気候変動による水資源の不足が世界に緊張と危機をもたらしているとし、セネガルが安保理において非常任理事国を務める間は、「水・平和・安全」を外交テーマとして掲げる旨発言した(3日 Le Soleil)。

### ケベック・セネガル関係

-2日、カナダのケベック州とセネガルの協力関係強化のため、セネガルにおけるケベック事務所開設に関する署名式が行われ、マンクール・ンジャイ外務・在外セネガル人大臣、カナダからサント・ピエール国際関係・フランコフォニー大臣、駐セネガル・カナダ及び駐カナダ・セネガル大使が出席した。サント・ピエール国際関係・フランコフォニー大臣は、ケベックが、インフラ、エネルギー、教育及び人材育成、鉱山開発分野の協力を特に重点を置いていく旨発表した(3日 Le Soleil)。

### コートジボワール・セネガル関係

-19日、サル大統領は13日に発生したコートジボワールのテロ事件を受け、同国を訪問し、ウワタラ・コートジボワール大統領及びコートジボワールの国民に対する追悼の念を表明した。また、サル大統領は、今回のテロ事件に関し、明日は他国でも同様の事件が起こる可能性が十分あり、自国はテロの心配は無用という幻想を抱いてはならない旨述べた(21日 Le Quotidien)。(往電第409号)

### 中国・セネガル関係

-17日、中国はセネガルの消防署に対し、救急車等の機材整備のため、約200億FCFAの融資に合意し、ユアン・サンギョン中国輸出入銀行副総裁とバ経済・財政・計画大臣が署名を行った(18日 Sud Quotidien)。

### ポーランド・セネガル関係

-18日、ポーランドのアダム・サンコワスキー・ワルシャワ商工会議所会頭は、同国の企業家約20名とともにセネガルを訪問し、ママドゥ・ラミン・ニャン・ダカール商工会議所会頭と意見交換を行った。ポーランドは、今後セネガルに対し、1億ドル(約450億FCFA)の貸付を利子0.5%及び返済期間30年の条件で行うこと、また、セネガルに同国の大使館を設立することを発表した(19日-20日 Sud Quotidien)。

### エチオピア・セネガル関係

-29日、エチオピア外務大臣は、セネガルを来訪し、二国間の経済協力強化のため、マンクール・ンジャイ外務・在外セネガル人大臣と文化及び観光に係る覚え書きに署名を行った。なお、セネガル政府は、エチオピアの次期安保理非常任理事国入りを公的に支援する旨明らかにしている(30日 Le Soleil)。

## 【経済】

-3日、ウマル・ゲイ漁業・海洋経済大臣は、船のエンジンの代理店である Sen Moteur Marine, Ngom et Freres 及び CFAO の3社を訪問し、各社に1000万FCFA小切手を手交した。本件は、大統領府が零細漁民の近代化支援として50億FCFAの予算を充てたプログラムであり、上記3社からモーターエンジンの新機購入1台に対し、

100 万 FCFA の補助金を与えるものである(3 日 APS)。

-3 日から5 日にかけて、ダカールにおいて「湾岸諸国とアジアとの商業取引を通じた活性化」のテーマのもと、第 1 回ハラルビジネスフォーラムが開催され、ジョヌ首相、サル商業・インフォーマルセクター・消費・国産品販売促進・中小企業大臣及びセック保健・社会活動大臣が出席した。同首相は、開会式挨拶において、ハラルビジネスは国境と宗教を超えた新しいビジネスの機会であるため、食品における各種規制や承認基準等で協調し、イスラム協力機構(OIC)との商業機会を強化する旨発言した(4 日 Le Soleil)。

-11 日、マンスール IMF 調査団長は、政策支援インストルメント(PSI)の第 2 次レビューのためにセネガルを訪問し、2015 年セネガルの経済成長率を前回予測の 5.4%から、政府発表の 6.5%に修正する旨発表した(13 日 Sud Quotidien)。(往電第 387 号)

-14 日、タイバンジャイにおいて、70MW から最大 105MW の供給能力を備えた新規発電所となるトーベンパワーの竣工式にサル大統領が出席した。同発電所は、建設のため世銀グループ及び西アフリカ銀行(BOAD)等より 800 億 FCFA の資金協力を得た(15 日 Le Soleil)。

#### 【その他】

-ジャロ内務・公安大臣は、セネガル国内における身分証明書を 2017 年より ECOWAS 共通の生体認証技術を導入した ID に統一する旨発表した(5 日 Observateur)。

-昨年 11 月、韓国アリラン・テレビの招待で韓国を訪問した当地新聞ソレイユの記者は、「慰安婦の家」を訪問し、日本軍に拘束されていた女性達にインタビューを行った(21 日 Le Soleil)。(往電第 416 号)

-8 日から 10 日にかけて、ダカールにて、第 1 回ネクスト・アインシュタインフォーラムが開催され、ルワンダのカガメ大統領、サル大統領及び 500 名以上の科学・技術者が出席した。同フォーラムにおいて、今後AUと協同でアフリカの研究者のための基金及びアフリカの科学・技術革命のための研究所を設立されることが決定した。次回はルワンダにて 2018 年開催予定(9-10 日 Le Soleil)。

-29 日から 30 日にかけて、ダカールにおいて、世界イスラム連盟による「開発と安定におけるテロとその損害」をテーマにした国際会議が開催され、シディキ・カバ法務大臣が出席し、セキュリティー、司法及びメディアにおける協力を呼びかけるとともに、イスラム教の教育スタイルの改善がこのテロとの戦いの解決策である旨発言した(30 日 Le Soleil)。

-15 日から 16 日にかけて、ダカールにてサイバーセキュリティについての会合である第 3 回アフリカセキュリティデーが開催され、ジュフ投資促進・連携・国家電信サービス省官房長官が出席し、サイバースペースがプロパガンダキャンペーン及びテロ組織へのリクルート等のテロ活動支援にも利用されている側面があるため、各国が国家の垣根を超えて協力・協調しながら対策にあたることが重要である旨述べた(16 日 Le Soleil)。

-8日、国連安保理ミッションが、マリ、ギニアビサウ及びセネガルを訪問し、セネガルの国連安保理の非常任理事国として、近隣国の平和維持に関する取り組みを称えた(10日 LeQuotidien)。

-10日、サル大統領は、サウジアラビアにおいて、セネガル軍が参加するアラブ合同軍“北の雷鳴”の合同練習の閉会式にマドゥ・ソウ国軍統合参謀総長等とともに出席した(11日 Le Soleil)。

#### 日本に関する報道振り

-4日、サンルイのガストン・ベルジュ大学において、セネガル柔道連盟及び日本大使館の協力により柔道の新技等のデモンストレーションが行われた。ベイダライ・カン同大学長は、冒頭挨拶において、日本とセネガルのスポーツ、特に武道における美しい文化交流を称えた(7日 Le Soleil)。

-17日、ニヤイ地区において、日本の草の根無償資金協力により建設された農業倉庫の除幕式が開催され、ンジャイ・ノト市長及び在セネガル日本大使館から石田書記官が出席した。同倉庫は、セネガルにおける野菜及び果物の輸出高の増加に鑑み建設され、マンゴー等の輸出前の野菜・果物貯蔵庫として利用される。また、本プロジェクトによってロンプール地区にも同様に農業倉庫が建設された。同倉庫は、種子及び肥料保存の目的で利用される予定(18日 Le Soleil)。

-22日、サル大統領は、加藤JICAセネガル事務所長のセネガルに対する貢献を称え、ライオン国家勲章を授与した(23日 Le soleil)。(往電第416号)

-30日、ファン病院において、赤十字、ルクセンブルグ及びJICAによるエボラ対策のための新規病棟、隔離テント及び24病床等(約115,000ユーロ相当)の引渡し式が開催され、セック保健・社会活動大臣が出席した(30日 Le Soleil)。

-TICADVIが、今回は初めてアフリカの地、ケニアで8月27日、28日に開催される(30日 Le Soleil)。(往電第451号)

(注)「セネガル月報」は、セネガルの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承ください。(了)